兵庫県立あわじ特別支援学校

ちくさ

第１３０号

令和４年度
７月２０日発行

〒656-0053
兵庫県洲本市
上物部２丁目
１番１７号
TEL
(0799)22-1766
FAX
(0799)25-2288

信頼される学校づくりを目指して

校長　加藤　佳子

保護者の皆様、地域及び関係機関の皆様、日頃は本校の教育活動にご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。今年度も、小学部二名、中学部二名、高等部二十三名、計二十七名の新入生と、小学部三年に一名、中学部二年に一名の新しい仲間を迎え、児童生徒計八十二名で学校生活を送っています。相変わらず新型コロナウイルス感染症に気を遣う毎日ではありますが、感染状況を注視しながら少しずつ元の学校生活を取り戻しつつあるところです。教職員一同、感染防止に細心の注意を払いつつ、様々な体験活動を通して社会参加に必要な能力が児童生徒の身に付くよう、日々の教育活動に邁進しています。

さて、本校では平成二十三年四月の開校より、淡路地区唯一の特別支援学校として、特別支援教育のセンター的機能を果たすべく、「希望」と「自立」を校訓に掲げ、教育活動を展開してまいりました。「希望」はいつも明るく将来に対して夢と期待を持つことを、「自立」は、自分の力で物事を行えるようになりましょう、ということを表しています。この校訓の示すとおり自立や社会参加に向けて必要な能力の伸長に努めているところです。

今年度もキャリア教育・就労支援推進や特別支援教育のセンター的機能の充実等に引き続き取り組んでまいりますが、今年度新たに取り組む事業をご紹介いたします。

一　地域の特色を生かした食育推進事業

今年度本校は「令和四年度地域の特色を生かした食育推進事業」による食育推進校の指定を受けました。

これまでも地産地消や野菜等の栽培をはじめとする食育に取り組んでまいりましたが、児童生徒が食の大切さをより一層理解できるよう、学校の教育活動全体を通して食育に取り組んでまいります。

二　ＩＣＴを活用した自立活動の効果的な指導の在り方調査研究事業

ここ数年のコロナ感染防止を意識した教育活動の中から、遠隔でのやり取りを含めた指導や評価の在り方についての検討が必要かつ重要であることを認識しました。国が提唱するＧＩＧＡスクール構想に鑑みても、ＩＣＴはこれからの教育にとって必要不可欠なツールです。この事業をとおして、外部の専門家と連携しながら訪問学級を中心としてＩＣＴを活用した自立活動の在り方を研究してまいります。

三　心のバリアフリー推進事業

児童生徒の自立と社会参加に向け必要な知識、技能等を習得するため、近隣の学校等との交流や居住地校交流、また体験活動等を行い、児童生徒が居住する地域との結びつきを深め、共生社会の担い手を育成することを目的として、これまでの交流・体験チャレンジ事業と交流及び共同学習事業が一新され「心のバリアフリー」推進事業となりました。内容としてはこれまで通り、居住地校交流を行ったり共同学習を行ったりするのですが、「心のバリアフリー」の実現に向け、一層充実した交流や共同学習となるよう、計画、実施していきたいと思います。

児童生徒一人ひとりのニーズに応じた教育により自立を促し、就労意欲や社会性を高め地域との結びつきを強固なものにしていくことが本校の使命であると自負しています。

今後とも本校の取組にご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

着任された教職員（敬称略）

榊原　英二	高木　健作	久保田　由起子
高岸　弘美	岡　達也	和田　大樹
藤川　優	加田　貴大	沖野　有作
髙橋　彩乃	櫓木　あかね	藤田　瞬也
安田　清人	土屋　泉	酒井　利佳
冨田　一二三	宮崎　裕史	

離任された教職員（敬称略）

熊田　利恵	鳥谷　文	加茂　純子
岩城　和寿	久保　俊輔	中郷　雅子
花岡　勇太	長谷川　昇	川口　忍
右田　久美子	田中　柊	立谷　くみ香
山田　千恵		

中学部

中学部は新入生二名と転入生一名を迎え、生徒十五名でのスタートとなりました。

春の遠足は、歩いて塩屋緑地公園に行きました。往路には各クラスでチェックポイントを探すミッションがあったり、公園では遊具遊びや手作りお弁当を食べたりと、楽しい時間を過ごすことができました。

六月には一泊二日の自然体験活動を実施することができました。一日目はエトワール生石で磯遊びやレクで思い切り楽しんだ後、おいしい夕食を食べ、大きなお風呂に入りました。二日目はイングランドの丘で施設見学をして、昼食はカレーを食べました。色々な経験ができたことで、たくましくなって帰ってきたように感じられました。

高等部一年

男子生徒十二名、女子生徒十一名合計二十三名の学年集団です。

島内各地から集まり、初めは緊張がありましたが、いまでは学級を越えてのコミュニケーションが広がっています。そして、全校集会などではお互いに協力し合う姿が見られ始めました。

春の遠足は雨天のため、中止となりましたが、日々の学校生活の中で親睦を深めていくことができています。

一人ひとり多くのことを学び、できることが増えつつあります。学校生活は楽しいだけでなく、厳しいところもありますが、それをみんなで乗り越えて全員で成長できる学年団になると期待しています。

作業

校外歩行

美術

行事予定表制作

高等部二年

高等部二年生です。四月から新しいクラスメイト・先生にも慣れ、各クラスがそれぞれの持ち味を発揮するようになってきました。先輩として、後輩の手本となれるように今年一年頑張ります。

今年のクラス目標

一組「一生懸命力を合わせ　笑顔がたえないクラス」

二組「ていねいな言葉づかいで話せるクラス　お互いに声をかけあって協力できるクラス」

三組「hard challenge　我武者羅（がむしゃら）～何事にもつき進む～」

高等部三年

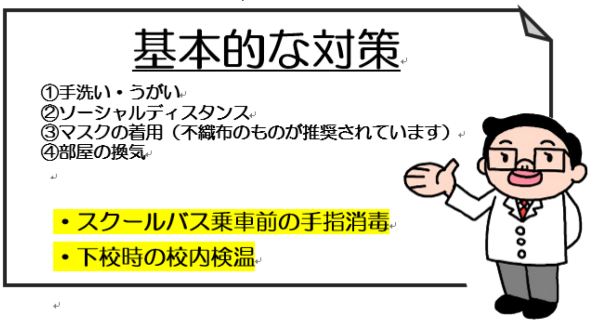
六月八日～十日で四国方面に修学旅行に行ってきました。一日目は四国水族館に行きました。イルカショーでは、鮮やかなイルカのジャンプを目の前で見ることができました。二日目は午前中、桂浜公園でオリエンテーリングをしました。グループで散策しながら、どのグループも与えられたミッションをすべて達成し、坂本龍馬像の前で記念撮影をすることができました。午後からはのいち動物公園に行きました。様々なかわいい動物を見ることができ、それぞれお気に入りの動物ができたようです。そして、最終日はニューレオマワールドを満喫しました。バードフライヤーに挑戦した生徒たちは大声で叫びながらも絶景を楽しんでいるようでした。

この三日間は、高等部生活で一番の思い出となる生徒も多いかと思います。この旅行で絆が強まり、卒業に向けて共に頑張っていってくれることと思います。

保健部

保健部は、主として「保健管理」「給食・食育指導」「環境美化・安全指導」「医療的サポート」の４つの業務を担当しています。

新型コロナウイルス感染予防対策については、本年度も文部科学省のガイドラインに基づき、持続可能な感染症対策を講じながら、基本的な感染症対策を徹底し、感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減するため、ご家庭でのご理解とご協力をいただきながら、学校全体で継続して取り組んでいます。



保健部では、引き続き社会の動向と状況をふまえながら、児童生徒のみなさんの健康と安心・安全に繋がる環境づくりに取り組んで行きたいと思います。

相談支援部

相談支援部の活動は、校内支援と地域支援の二本柱から成り立っており、七名の部員（内二名は専任）が手分けして日々の業務に当たっています。

校内支援として、児童生徒のアセスメントや個別指導、支援部だよりの発行、自主研修会等を実施しています。「きゃっちボール」は今年度も学期に一回程度発行する予定です。

地域支援として、主に淡路地区に居住するお子さん、保護者、先生方等の相談に応じています。そこではお子さんの発達段階や認知特性等に応じた教材や指導方法の提案、聴覚支援（聴力測定等）を実施しております。また、依頼があれば地域の学校園へ訪問することもあります。校内外問わず、必要に応じて関係機関と連携をしながら支援にあたります。

今年度も公開講座を予定しております。オンラインでの安全な開催を検討しています。

聴力測定機器

教育相談室

情報部

情報部は学校の情報セキュリティ保持を基本に学校の情報活動を司る部署であります。

情報管理の分野では、セキュリティ統括・規定・研修の管理、校内グループウェア管理、学校ＨＰの管理・国・県等からの各種調査に対する管理業務、マチコミの管理・メールアドレス等情報関係の個人情報管理などを担当します。

機器管理では、校内ネットワークの維持管理、情報機器・視聴覚機器の備品管理・整備、生徒使用機器の管理などを担当します。

情報教育では、情報教育・視聴覚教育推進、ＩＣＴ活用、情報モラル教育推進などを担当します。

このように学校活動の中で情報機器や情報の管理などに関係する様々な業務を担当しています。

保護者の皆様とはマチコミのメール連絡網を使っての情報伝達、地域・関係者の皆様とは学校ＨＰを通しての情報伝達等でコミュニケーションを取るお手伝いをさせていただいております。

小学部

今年度の小学部は、一年生の二名と三年生の転入生一名を迎え、通学生八名、訪問学級一名の九名で仲良く頑張っています。

四月の春の遠足では、曲田山公園へ行きました。天候にも恵まれ、遊具でたくさん遊んだりお弁当やおやつを食べたりして楽しみました。

五月の自然体験活動では、慶野松原へ行きました。松の木に囲まれた遊歩道では、散歩して松ぼっくりを拾いました。浜辺では、砂山を作って遊んだり綺麗な石を集めたりして淡路島の海を満喫しました。

六月には、洲本第三小学校との学校間交流を行いました。本校の体育館で洲本第三小学校の友だちと一緒にリズム体操や転がしドッジボールをして交流を深めることができました。次回の交流も楽しみです。

総務部

新型コロナウィルス感染症の収束を見ないまま四月八日の始業式、入学式を迎えました。入学式へは在校生は体育館に入らずリモートにより新入生を迎えることになりました。

ＰＴＡ活動は、五月十六日に体育館でＰＴＡ総会を開催し、原新会長のもと新しい船出を切ることができました。今年度は、研修を充実させ、研修をとおしてＰＴＡ会員同士の親睦を深めていきたいと考えています。六月十四日には、ＰＴＡ役員会のあと、心肺蘇生法研修会を開催しました。十六名の会員が参加し、二人組になりＡＥＤの操作方法や止血法など実践を交えながら、和気あいあいとした雰囲気で行うことができました。七月十三日にはカプチーノ事業所での研修があり、多数の会員の方にご参加いただきました。今後も研修委員会を中心に新しい企画を考えていきたいと思いますので、ご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

心肺蘇生法講習会

教務部

日常の授業風景

教務部では、保護者の皆様に関わることとして、授業参観やオープンスクール、個別懇談会の計画・実施のほか、個別の指導計画（あゆみ・通知表）に関わる業務を行っております。本年度は、授業参観を各学部・学年で実施日時を決め、参観していただいています。

新型コロナウイルス感染症対策の規制が緩和されてきたとは言え、まだ安心はできないところです。そのため、一学期に行う予定であったオープンスクールも時期未定の延期とさせていただきました。

皆様には、日々の教育活動に対し、ご理解、ご協力を賜り感謝いたします。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

生活指導部

生活指導部の活動は、生徒指導や生徒会活動をはじめ、心のバリアフリー推進事業や体育文化行事、校外作品展等の企画や実施を行っています。また、人権教育も行っています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響はありますが、居住地校交流や学校間交流を積極的に実施しています。また、小・中学部の交通安全教室は昨年度より淡陽自動車教習所のエリアをお借りして実施しています。洲本警察署と洲本市交通安全協会の協力のもと実施し、地域と連携しながら安全教育を行っています。

校内では、小・中学部の児童生徒会（今年度は中学部のみ）の認証式や高等部の生徒総会が実施され、新たな組織のスタートとなりました。また、高等部の部活動（サッカー）、クラブ活動（サッカー、卓球、ボッチャ・風船バレー、卓球、陸上、文化クラブ）が始まっています。

進路指導部

今年度の進路指導もコロナ禍でのスタートとなりました。県の方針や感染拡大状況を鑑みつつ実習や進路行事を実施する予定としております。

五月十六日には「進路説明会」を、六月十六日には、「福祉サービス事業所合同説明会」（左写真）を開催し、多数のご参加をいただきました。ご多用の中、有難うございました。

また、二つの視点からの活用を考えて今年度よりキャリアパスポートを導入しました。①児童・生徒本人の意思や思いに重点を置き、振り返りの教材として活用する。②学校卒業後も生涯にわたり、自己のキャリアの発達を促すための資料とする。一生モノの良い資料となりますようご協力をよろしくお願いします。（家庭での分野設定や振り返りもあります。様子などお聞かせください。）

進路実現ができるよう、ご家庭・関係機関・学校が手を取り合って進めていきたいと思っております。今後ともご協力を宜しくお願いします。